

羊蹄山(1,898m)京極コース B班山行記録

山行日	R元年7月7日(日曜日)
参加者 計15名	西田CL (A班) 藤木L、門馬、笹山、八重樫、太田、宇田、小山内、酒井 (B班) 佐藤、藪中、荒谷、川村、増川、栗山
天候	曇りのち晴れ 微風
時間	(行き) 伊達道の駅 5:00、→ 京極登山口P場着 6:05 ⇒ 下記山行時間 (帰り) 京極登山口15:55、←伊達道の駅着 18:30 (京極温泉入浴)

伊達集合から曇り空の中、登山口に着くと晴れた羊蹄山が出迎えてくれた。体操後2班に分かれておのおの出発した。前に行くA班ジュニア組の平均年齢61才。それより11才も年上の我々B班シニア組である。無理せず、ゆっくり、ゆっくり、一步一步着実に歩む。しかし、ひたすらな登り、滑る粘土状の道、岩ごろごろの道木の根の張り出している道、太い倒木をくぐったり、またいだり木に頭をぶつけたり、緊張の連続だ。先日登ったペケレベツ岳の「母の胎内」のような(ずっと小型だが)所も有り懐かしく思う。歩き始めて2時間余り、1000m付近で札幌近郊の山々には雲がかかっているが、下界の街が見えて来て嬉しくなる。(下山の時はまだ、こんなに高い所かと、がっかりしたのだけれど・・・)



京極コース 登山口 登山届箱

(B班山行時間)

時刻	場所・状況・行動
6:30	登山開始
10:05	5合目(1500m)
11:10	8. 5合目(1750m)
11:50	羊蹄山頂上～昼食
12:25	下山開始
15:55	登山口駐車場着
登山Hr	登り 5-20分 下り 3-30分



B班 ゆっくり、慎重に



A班 余裕で先を登る

火口壁は砂礫の為、一步一步がすべる、滑る。火口壁上に出た後、最後の力を振り絞って左への道を10分。制限時間に10分前の11時50分登頂。登山口からほぼ5時間半の登りだった。頂上では次々と登ってくる人で記念写真を撮るのも忙しい。そして既に昼食中のA班のそばで我々も昼食と束の間の休息を取る。



振返ると京極の町が



B班メンバー全員登頂



お鉢分岐前の砂礫



羊蹄山標識をバックにA班、B班の記念写真 皆さん大満足

登る途中、オトギリソウ、ハクサンチドリ、ゴゼンタチバナ、イワブクロ、等を目にし、低木のウラジロナナカマドの白い花が斜面を占めている所もあった。頂上にはキンパイやツガザクラや小さな花がいわがけに沢山咲いていた。大火口の中の父釜には青い水がたたえられていて、母釜は雪で真っ白。

30分程で下山開始。下りながら振り返ると火口の上には雲一つ無い青空。(ああ、もうちょっとゆっくりしたかったなあー！)「ゆっくり下りましょう、今日中に着くでしょうから、と私の口ぐせで前の方達にけん制をかける。それでも転ぶ名人の私は何度も滑って転んだ！



無事に下山しました。登山口から登山口までちょうど9時間。A班の皆さんお待たせしました。帰り道そびえる羊蹄山は少しかすんでいて登った跡を隠しているようだった。大きな山だ。また登りにいきたいな。暑さと長い道のり、前日の沢登りの疲れなどで足のつった方もいたようだが無事に全員下山出来て良かった。リーダー、皆様、大変お疲れ様、そしてありがとうございました。

(記) 栗山